

校長 松葉 真佐江先生 おめでとう!山辺小150周年



今年は山辺小創立150周年の年です。勤務している私よりも、長年に渡り山辺小を見守ってきてくださった地域の方々やPTAの方々の方が、喜びは大きいことと思います。

この記念すべき年に、山辺小では、運動会をはじめ、児童会のなかよし集会、記念作品展を催しました。たくさんの方にご来校いただき、ともに150周年をお祝いいただけたことに心より感謝申し上げます。

運動会では、いこいの森を背景に校舎の姿が描かれたそろいのTシャツを作成し、PTAより全児童にプレゼントしていただきました。デザインはPTAの塚越晴代様のご協力によるものです。この場を借りて、お礼申し上げます。すてきなデザインをありがとうございました。濃紺のTシャツに身を包んだ全校児童が校庭を駆け回る姿は圧巻でした。大玉送りでは、赤組、青組、黄色組の三色に分かれ、どのチームも1年生から6年生までが力と心を合わせて、ひとつの大きなうねりとなって大玉を送ろうとがんばりました。

目に見えない心をひとつに揃えるのは難しいことですが、揃いのTシャツのおかげで、山辺小の子どもたちの心がより固くひとつになったのを感じました。

これから、160周年、170周年、タイムカプセルを開封する約束の200周年と続いていく山辺小学校。心をひとつにがんばる山辺小の子どもたちの姿もずっと続いていくことを願い、結びとさせていただきます。



学校音楽祭
新分 由希子先生

新分先生は、合唱部のチーフとして子どもたちを指導しました。昼休みや放課後、校舎内に合唱部のきれいな歌声が響いていました。今年度は県の中央祭に代表で選ばれました。県教育会館大ホールで指揮者を務めた新分先生。すばらしい合唱を披露した部員の皆さん。大変お疲れ様でした。

学校体育
大石 雅也先生

大石先生は、運動会などの体育的行事を計画しています。150周年記念運動会では、大玉送りを復活させて、みんなが楽しく競技に参加できるようにしてくれました。もちろん、日頃の体育の授業も事前準備等をしっかりやっています。山辺小児童の体力向上のため、がんばってください。

教頭先生 いち押し! ○○といえば・・・この先生!

学校保健
木村 美帆先生

保健室で、いつも優しく子どもたちの傷の手当てをしています。具合が悪くてベッドで寝ている子には励ましの声をかけています。また、保健だよりには、健康についての情報が満載です。保健の基礎知識について、われわれも読んで教わる事が多いです。これからも山辺小の子どもたちが健康に過ごせるようお願いします。

学校図書館
西 悠輝先生

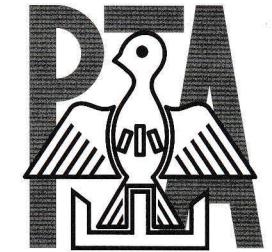
西先生は、学校司書教諭の資格を持っています。図書委員会の担当として、子どもたちと一緒に本の整理や整頓、新書の受付作業を行っています。また「読書まつり」を計画して、みんなが図書館に集まり、一人一人の読書量が増えるようにしてくれました。昼休みの「お話ポケット」は、人気がありますね。本当にお疲れ様です。



古原恵里佳 先生

よろしくお願ひします!!

山辺小学校では「音楽の楽しさを実感できる児童の育成」という研究テーマで音楽科の授業研究を行っています。私は子どもの頃から歌を歌ったり、楽器を演奏したりすることが好きで、音楽が一番好きな教科だったので、山辺小学校の子どもたちが音楽好きになるよう研究できることを嬉しく思います。今年度は全校児童が体育館に集まって行う音楽朝会を再開しました。子どもたちが元気に歌を歌ったり、生き生きと音楽ゲームをしたりする姿を見ると、次の朝会も楽しい朝会にしようという気持ちになります。山辺小学校の子どもたちに音楽って楽しいと感じてもらえるよう、また、山辺小学校が明るい歌声であふれるすてきな学校になるよう努めていきます。



第 130 号
発行所 足利市立山辺小学校
発行者 齋藤 和久
編集 藤集
PTA 広報部
印刷所 栗原印刷

えにしのちかい
○しみじみと語り合える夫婦
○親子、友だちになりましょう。
○人間と人間の縁を大切に、ほんとうのことが話し合える仲になりましょう。
○子どもを良くするために親であるわたたくすのために身が、進歩し成長するようにつとめましょう。

山辺小のブログはこちら
山辺小の子どもたちの活躍の様子を中心に、日々の学校生活について写真と記事で紹介しています。スマホなどで気軽に見る事ができますので、ぜひチェックしてみてください。



1年:それいけ!1年生



2年:じゃんけん けんけん とつきゆうけん



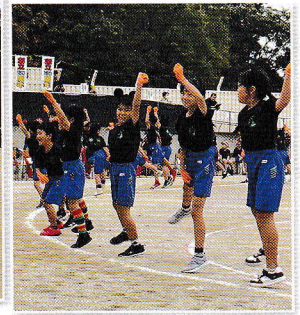
運動会

い心をもって頂点へ!

木節



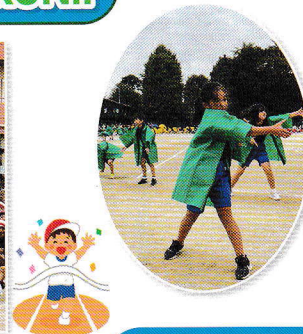
1・2年:ジャンボリミッキー



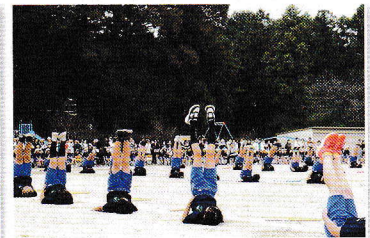
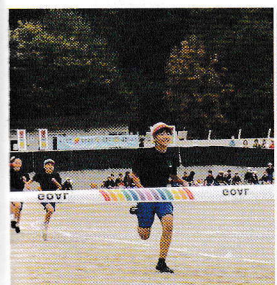
ディ山辺2024

6年:55盗塁目指して! LAST RUN!!

3・4年:THE☆ロックソーラン



5・6年:魅せる山辺魂~Evolution~



開会式



閉会式



3年:かわいさ一等賞

令和6年度

青色組優勝!



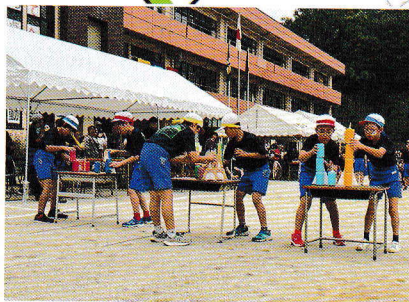
山辺小大

テーマ 「150周年夏よりア

4年:白熱の山辺小オリンピック開催!!



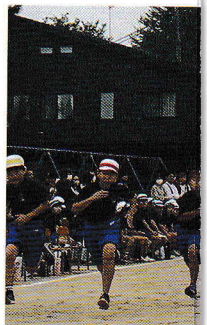
全体:八



150周年記念 応援合戦



5年:ウィン



150周年記念 3色対抗リレー



150周年記念 大玉送り



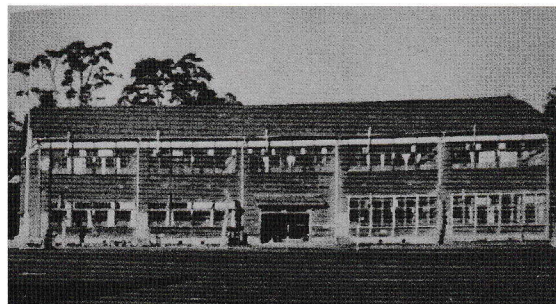


山辺小一五〇年のあゆみ

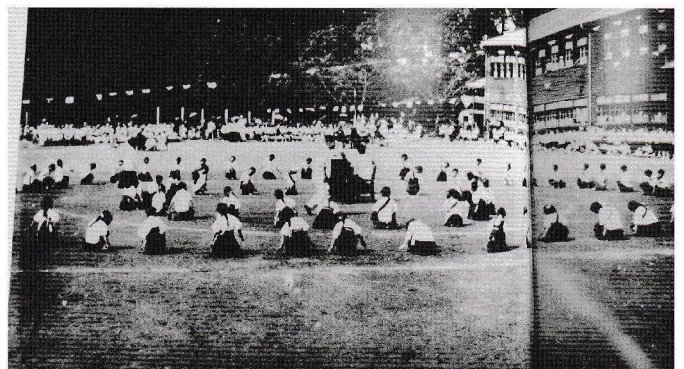
明治五年	・国の学校制が定められ、日本に学校が生まれる。
明治七年 八月四日	・山辺小学校「立教舎」が生まれる。八幡村の「禅定院」をかりる。
明治二年	・八幡尋常小学校とよぶ。両毛線が開通する。 山辺村ができる。 (八幡村・田中村・借宿村・朝倉村・堀込村)
明治三年	・「禅定院」に火災がおきる。↓民家をかりる。
明治四年	・今の校舎がたっている場所あたりに、村の校舎が初めてたつ。 (今の教室の3教室分くらいの大きさ)
明治四年	・運動場ができる。(今の東校舎の前に今の校庭の半分くらいの大きさ) ↓記念運動会がひらかれる。(山辺小初めての運動会)
明治四〇年	・東武鉄道が開通する。
大正二年	・創立五〇周年(児童数二、〇七五名)
大正五年	・野州山辺駅がひらかれる。
昭和三年	・「校章」がさだめられる。山辺村の「村章」がそのまま「校章」になる。
昭和二年	・グランドピアノが買い入れられる。
昭和二年	・「講堂」がたてられる。(栃木県で一番大きい講堂)
昭和二年	・「山辺町」となる。
昭和一六年 昭和二〇年	・太平洋戦争(児童は学校の勉強だけでなく、大人の手伝いで毎日働いていた。)
昭和二年	・「山辺町立山辺小学校」となる。 「山辺中学校」もできたが、また校舎がなかったので、山辺小の中で勉強していた。



開校当時の児童



明治24年頃の校舎



明治34年頃の運動会

校歌

一、松風まつかぜに昔むかしをしのばす 八幡山やわた
 学び舎まなびやに光ひかりはあふれ 背せにめぐらして

あ、伝統でんとうゆかし 山辺小学校

二、渡良瀬わたらせの川原かわらの小石こいしの姿すがたこそ
 つらぬくは誠まことの心 それぞれがえ

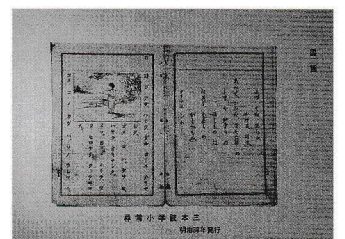
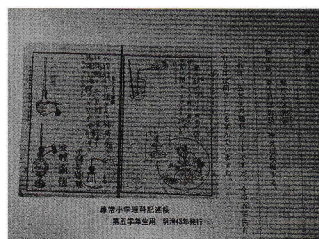
あ、親愛しんあいあつき 山辺小学校

三、ひらけゆく 野州のしゅうの大空おおぞら
 浅間あさまの峰みねはかがやき

あ、希望きぼうこそぞ 山辺小学校

こたえるは知徳ちとくのこども

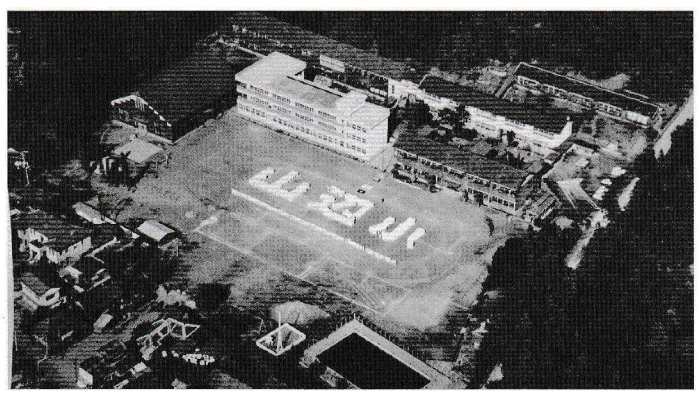
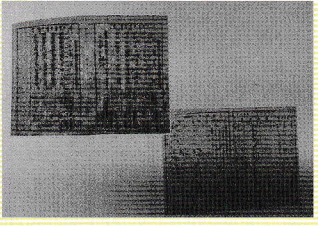
山辺小校歌(昭和36年)



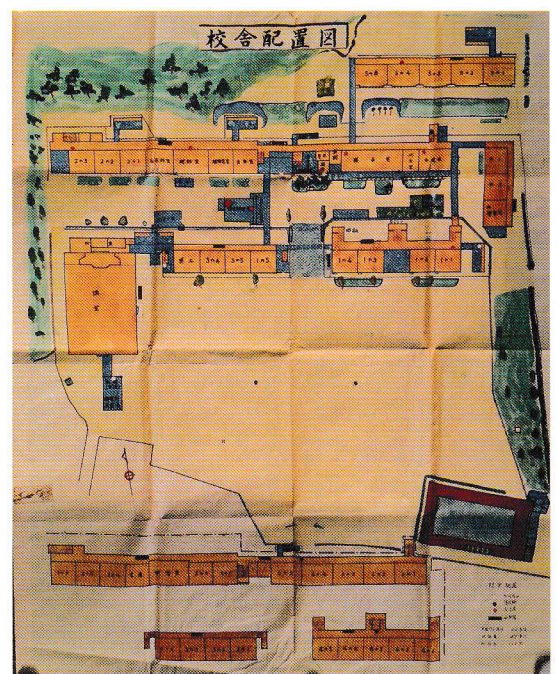
当時の教科書

昭和二五年	「山辺中学校」の校舎が今の所にできて、山辺中が移る。 山辺町が足利市に合併し、今の名前「足利市立山辺小学校」となる。
昭和二八年	創立80周年 完全給食週三日制がはじまる。
昭和三二年	火災でひとつの校舎と務員室・宿直室・物置が焼ける。 今の校章にあらためられる。(桜井博先生がデザインした) (児童数二、三三名山辺小の児童が番多い年今の5倍以上の数) 完全給食週五日制がはじまる。
昭和三四年	「校歌」ができる。(作詞三田忠夫先生・作曲早乙女典夫先生) 児童会の歌「山ばとの歌」がつくられる。 (作詞浅野元重校長先生・作曲宮本孝己先生)
昭和三六年	正門(南門)の鉄の扉がつく。(児童数一、五八三名)
昭和三九年	「南小学校」ができる。
昭和四八年	(山辺小の児童一七九九名のうち、堀込町と朝倉町の児童五八三名が南小にうつる)
昭和四九年	創立二〇〇周年(児童数二、二五四名) タイムカプセル(8つ)を「山ばとの塔」にうめて一〇〇年あとの山辺小の子ともたちにおくる。 講堂兼体育館ができあがる。 この年までに今の校舎がすべてができあがる。
昭和五八年	ミニプールができる。
昭和六一年	創立二二〇周年(児童数六八九名) 英会話学習がはじまる。
昭和六二年	新しいプール(今の)ができあがる。
平成二三年	創立一四〇周年(児童数五一九名) 普通教室にエアコンが設置される。
平成二六年	ウサギ小屋ができる。
平成二九年	タブレット端末・Wi-Fi環境が整備される。
令和三年	創立一五〇周年(児童数四〇五名)
令和六年	

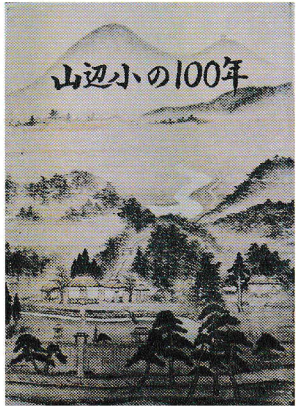
卒業生の数(令和六年三月まで)
開校から 約二〇、一三〇名
昭和二二年から 一五、〇七二名



昭和38年頃の校舎



山辺小校舎配置図(昭和38年)



創立100周年記念誌(昭和49年)



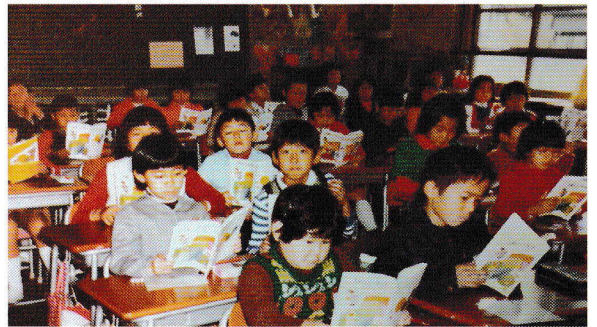
150周年記念Tシャツ(令和6年)

学校教育目標
創る子
思いやる子
やりぬく子

学校教育目標



令和6年の児童



授業風景(昭和54年)

PTA会長挨拶文

PTA会長
齋藤 和久



今年度、PTA会長を務めております、齋藤と申します。伝統ある広報誌「えにし」に今年度も挨拶を執筆しますこと、大変光栄に思います。2年目の会長を務めさせていただき、感じたことを雑感という形で書かせていただきます。

今年度は山辺小学校開校150周年でした。今年の運動会は150周年記念行事として開催し、盛況に終わりました。それで気になって私が小学生だった頃の山辺小学校の運動会の写真を見たのですが、児童の人数の違いに驚かされました。当時は1,000人を超える児童が山辺小学校で学んでいました。時代の変化をまざまざと感じさせられました。

話は変わりますが、PTAに参加して私が得たものは、他の保護者との交流と学校の先生方との交流です。仲間がいることと、身近な教育の専門家と繋がりがあことは、子育てをする上で大変心強いと思えました。

感染症の時期も終わり、社会の変化が激しくなっている現在、これからのPTAは加入していて良かったと思えるものを目指していかなければと思っています。そうしたPTAを目指しますので、よろしくお願ひします。

10年目のアップデート

山辺小学校創立150周年おめでとうございます。そしてふと10年前の140周年の頃を思い出しました。我が家の長女、次女が在籍していたころです。「十年一昔」とはいえたった10年で私達の周囲を取り巻く環境の目まぐるしい変化を感じずにはいられません。主にインターネットが以前より生活に密接になった事があげられます。コロナ禍を経た今だからこそかもしれません、アナログからネット媒体への移行、遠隔でのコミュニケーションの活発化、現金不要のスマホ決済など様々であり、また子ども達の娯楽・遊びの変化もしかりです。通信可能なゲーム機で放課後学校の友達とゲーム内で待ち合わせして遊ぶ中一長男。そして、コンビニエンスストアを営む私達親よりずっと早くにネットで知った話題のお菓子を教えてくれる小5の三女。そう、彼らはデジタルネイティブ世代。物心ついた時からそれらが身近にある環境で育った為、今更親が「よくわからないから」という理由で使わせないという理屈は通用しません。ならば安全かつ楽しく適正に利用するため親子で一緒に仕組みを理解し、ネットリテラシーを高めることが今後の子育てにおける大切な課題であると感じております。かくいう私も子どもに与えるデジタルデバイスにかかる適切な使用制限フィルタリングの方法をYouTubeで習得し、SNSでの新機能や不明点を成人した娘たちに質問して勉強中。以前は「とりあえず心配だから禁止」という怠慢っぷりでしたが、10年たった今、私も何とかアップデートできた気がします(笑)。

PTA副会長
上臺由美子



編集後記

「えにし第130号」発行にあたりご協力ご援助いただいた皆さまに対し、広報部一同深く感謝いたします。

部長 椎名 英美(6年生)
副部長 今川安由美(5年生)

平井 春香(6年生)

田部井結美(5年生)

大澤 美幸(4年生)

中村亜理沙(4年生)

矢澤美津子(3年生)

横塚 朋子(3年生)

尾関 小春(2年生)

南雲 幸子(2年生)

下山佳保里(1年生)

森元 美香(1年生)

